

# メヒルギ



3月に西表島の馬場繁幸先生が我々のためにプレゼントしてくれたマングローブ植物の一種「メヒルギ」。せっかく頂いたのでみんなに配布しますと教室掲示したところ、たくさんの生徒(+教員)が「育てたい!」と言って持って行ってくれた。生物室でも植木鉢に植えて育てているのだが、2ヶ月くらい経って最近ようやく新葉が出てきた。そんな中、3年生のH君が見せてくれた写真に驚いた。家に持ち帰って育てているメヒルギがぐんぐん成長しているのだ。すでに20cm以上伸びていて、葉も展開している。2対目の葉が出てきそうだ。生物室は冬は恐ろしく寒い(そして夏は地獄のように暑い)ので、気温の安定している家の方が成長が早いようだ。さて、みんなの家のメヒルギ、成長具合はどう?

また、H君は面白い経験を話してくれた。「祖母の育てているメヒルギは、土に植えていたら枯れかけてしまったが、水耕栽培に変更したら順調に回復しました。」これはいったいどういうことだろう?土の種類、成分、pH、水分量…何がマングローブに適さなかったのかもしれない。生物室で昨年から育てているヤエヤマヒルギ(いきもの記Vol.1参照)も、土に植えていたいくつかは枯れてしまった(もちろん土で順調に育てているのもたくさんある)。途中から水耕栽培に変更したことはなかったので、H君の体験談は面白い発見だ。色々条件を変えて育ててみると面白いかもしれない。

ちなみに、英語科のM先生に教えてもらったのだが、H君のように“植物を育てるのが上手い人”を英語では“Green finger”と言うらしい。良い表現だなあ。でも、私は“ずぼら”なのでGreen fingerにはなれなそうだ。

メヒルギの散布体はまだ少し余っているので、欲しい人はぜひ申し出てください。



フィールドワークでお世話になっている西表島の馬場繁幸先生から頂いたメヒルギの散布体。

(2021.3.17)なんと100本もある。昨年はヤエヤマヒルギを130本送ってくださった。「コロナで刺激が少ないだろうから」と高校生のために送ってくださったのだ。本当にありがたいですね。

### メヒルギの成長過程 (西表島で観察)

H君が家で育てているメヒルギ。矢印の位置から伸長し始め、左の方はすでに20cm以上伸びている。5.29 (写真: 本人提供)



生物室で育てているメヒルギ。ようやく新葉が出始めた。寒いせいなのか、上の写真のメヒルギよりだいぶ成長は遅い。5.17



高さ3m程に成長したメヒルギ  
2018.8.9



メヒルギの花  
2019.7.26



散布体。散布体とは母樹にぶら下がったままタネが発芽を始めたものだ。



成長した散布体は母樹から落ちて地面に突き刺さる。そこで新しく葉を展開していく。